

提供日：令和4年3月24日

環境生活部県民局

食品・生活衛生課

食品情報班 奥山・大家

連絡先：073-441-2635

令和3年度食の安全・安心に係る県民アンケート調査の結果について

食の安全・安心に係る県民アンケート調査の結果を、ホームページ「食の安全・安心わかやまプロジェクト」(アドレス：<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031600/project/index.html>)に掲載しましたのでお知らせします。



1 調査の趣旨

県民の皆さまが、「食」についてどのような意識をお持ちなのか把握し、今後の施策に反映させていくことを目的としてアンケート調査を実施しました。

なお、同様の調査は3年ごとに実施しています(今回で7回目の調査)。

2 調査期間

令和3年9月1日～令和3年12月31日

3 調査対象者・調査方法・回答者数

調査対象者：日常的に食品を購入されている県民の方

調査方法：①当課ホームページ上で、アンケートに回答していただきました。

②街頭調査、研修会等で参加者等にアンケートへの回答を依頼しました。

回答者数：749名

4 調査結果概要

別紙のとおり

5 参考

前回までの結果についても、ホームページ「食の安全・安心わかやまプロジェクト」に掲載しています。

令和3年度 食の安全・安心に係る県民アンケート結果の主な概要

○食品の安全性への不安

- ・ 51.1%の県民が、依然として食品の安全性に何らかの不安を感じている。(問1)
- ・ 不安要因としては、農産物は「農薬の残留」(36.0%)、畜水産物は「鮮度」(42.2%、55.5%)、加工食品は「食品添加物」(47.5%)の割合が高い。(問2)
- ・ 農畜産物、加工食品ともに、「輸入品」については、それぞれ23.3%、25.1%、23.0%の県民が不安との回答であった。(問2)
- ・ 飲食店については、「店の衛生状態」(63.8%)に関する回答が多かった。(問2)

○食品購入の基準

- ・ 食品購入の基準については、価格(70.9%)に次いで、食品表示の内容(33.6%)が高い。(問3)

○食品表示の内容

- ・ 食品表示の内容については、「消費期限・賞味期限」(54.3%)、「原産地や原料原産地」(43.3%)の割合が高い。(問4)

○食中毒に関するイメージ

- ・ 鶏の生食やノロウイルスに関する質問では、正しい回答を多くの方が選んでいる一方で、誤った認識をお持ちの方も少なからずあることが分かった。(問6、問7)

○利用しやすい情報提供の方法

- ・ 年代が低いほど「ツイッター」や「LINE」、「インスタグラム」といったソーシャルネットワークサービス(SNS)を、年代が高いほど「新聞」を選択する傾向がある。(問9)

○重要な県の取り組み

- ・ 56.5%の県民が、重要な県の取組に「わかりやすい情報の提供」を掲げている。(問12)

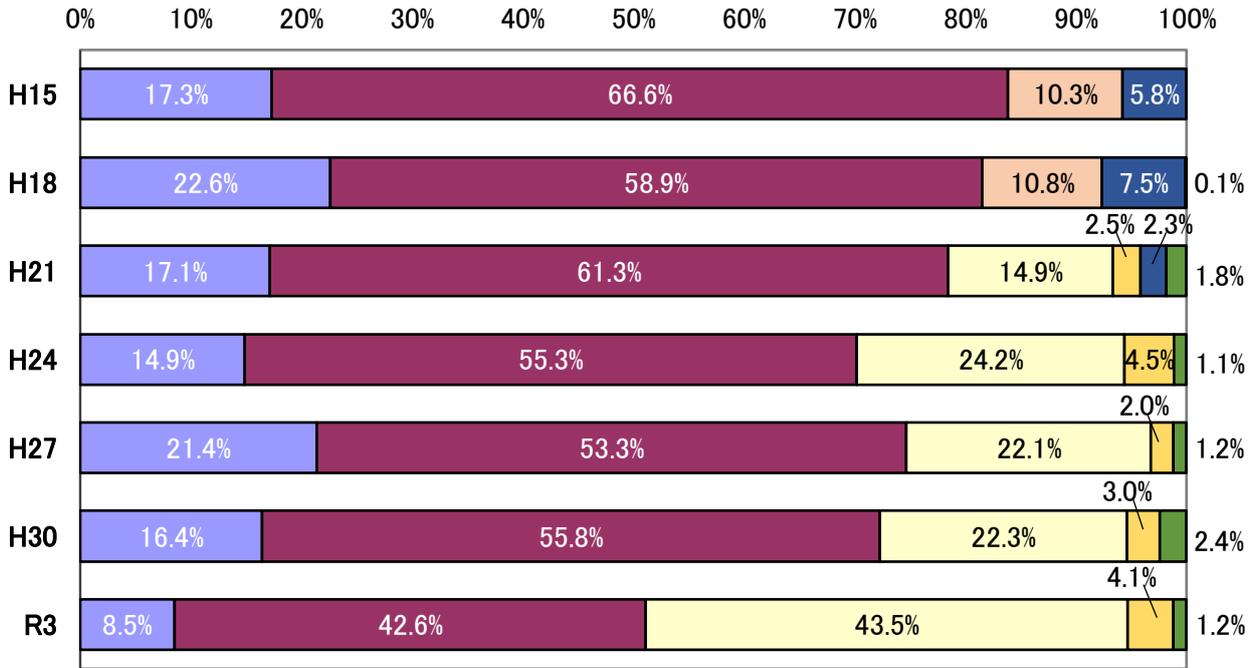
* 主な項目(「食品の安全性への不安」)の前回までの調査結果との比較は「別紙：過去の調査結果との比較」

(別紙：過去の調査結果との比較(主な項目))

○食品の安全性への不安 (1つ選択)

・51.1%の県民が、食品の安全性に何らかの不安を感じている。

食品に対する不安感



- 非常に不安
- やや不安
- あまり不安でない(H21~)
- まったく不安でない(H21~)
- 不安でない(H15,18)
- わからない(H15~24)
- 無回答

食品の安全性について、「不安を感じている人」は51.1%(前回から21.1ポイント減)、「不安を感じていない人」は47.6%(前回から22.3ポイント増)となり、前回と比べると「不安を感じている人」の割合が大幅に減少している。

	(A) 不安を感じている人	(B) 不安を感じていない人
H15	83.9%	10.3%
H18	81.5%	10.8%
H21	78.4%	17.4%
H24	70.2%	28.7%
H27	74.7%	24.1%
H30	72.2%	25.3%
R3	51.1%	47.6%

A=「非常に不安」「やや不安」の合計
 B=(H15,18)「不安でない」
 =(H21~30)「あまり不安でない」
 「まったく不安でない」の合計